

和地ひとみレポート No.197

今年も42,500人という多くの来場者
毎年、進化するうまかんべえ～祭

■第5回うまかんべえ～祭

…4月23日(土)、24日(日)の2日間、都立南公園で第5回うまかんべえ～祭が開催されました。毎年、会場のレイアウトなどが改善され、進化しているこのお祭りですが、今年はレイアウトだけではなく、様々なイベントを融合させ、お祭りとしてさらに良い内容になっている印象でした。

…うまかんべえ～祭りは、市内の団体がオリジナル料理の味を競う「グルメコンテスト」をメインイベントとし、そのほか、協賛協力企業や団体のブースエリア、友好都市の喜多方市の物産展やお蕎麦、ラーメンを出すエリア、また農協の野菜直売。そして、お祭りの会場をゴールとするウォーキング(今年のスタート地点は西武球場前駅)などのイベントで構成されていますが、今年はさらに、フリーマーケットエリア(出店資格は2,000円以上のうまかんべえ～祭協賛者)、段ボールなどを使って小さなお子さんが公園の森の中で遊べる「子どもあそび広場」も設置され、家族で1日楽しめるお祭りとなっていました。第3回あたりから、レジャーシートを持って、ピクニックのように楽しむご家族やグループの姿を目にするようになっていましたが、今年はその数がさらに増えていたように感じました。

■ステージも増やし

…お祭りの会場内には、開会式、閉会式(グルメコンテストの表彰式)や、和太鼓、音楽、ダンス、お笑いライブなどが行われるメインステージが設置されますが、今年は、協賛しているイトーヨーカドーの入口の前にもセカンドステージが設置され、市民団体が音楽演奏などを発表していました。

ウォーキングで参加された方やイトーヨーカドーのお客様なども足を止めて、ステージを見る姿が見られ、いつもと違う楽しい週末となる場になっていました。また、南公園のメイン会場は公園の中心になるため、ヨーカドーとヤオコーの間にある桜街道からは見えない場所ですが、このセカンドステージを設置したことにより、お祭りを知らなかった方も、足を運ばれるきっかけになっていたようです。お祭り開催の初日は天候に恵まれましたが、2日目の日曜の朝は小雨が降り客足に不安もありましたが、2日間の来場客数は昨年より1000人増の42,500人となりました。(1日目21,500人、2日目21,000人)。

■グルメコンテストの審査方法も変更

…昨年までのグルメコンテストの審査方法は、出展メニューを1つ購入するとプラスチックのメダルを1個もらえ、それを気に入った料理の投票箱に入れるというものでした。この方法の場合、例えば、A、B、Cと3種類の出展メニューを購入してメダルを3枚入手しても、Aに3枚とも入れることが可能になります。よって、一部の方からは「本当においしい料理というよ



みんなで祭を盛り上げるべえ～!!



り、知り合いがいるところに投票するという事になっているのではないか。」という声も出ていました。…そこで、第5回の今回からは、各出展メニューに対し評価ができる審査方法に変更。出展メニューを購入するとそのメニューの名前が書かれた投票カードが1食につき1枚もらえ、その投票カードを星3つ～1つの投票箱に投票し、各出展メニューの合計の星の数で審査結果が出るという方法に改善されました。…また、今回は審査のポイントも投票カードに明記されたことにより、「よりコンテストの趣旨が明確になった」と感じました。明記されていた審査ポイントは以下のとおりです。

- ① おいしさ
- ② 課題食材(ひがしやまと茶うどん、東大和市産のほうれん草・小麦粉・狭山茶)の利用度
- ③ 東大和らしさ
- ④ 商品化のしやすさ(将来性)
- ⑤ 独創性(既存の物との差別化)

…この新たな審査方法により入賞された団体と料理は以下の通りです。

第1位:ココナッツ・グリーンカレー(ほうれん草を使用)
(出展者:カフェ cotta)

第2位:抹茶ミルクークレープ(狭山茶を使用)
(出展者:4小おやじ本舗)

第3位:あんかけ茶うどん(茶うどんを使用)
(出展者:ユニオンガーデン)

審査員特別賞:カリポテ(ほうれん草を使用)
(出展者:AGB58.8)

■うまかんべえ～祭の特徴は

…東大和市の大きなお祭りやイベントは、6月に開催される『環境市民の集い』、11月の第1週の日曜日に開催される『産業まつり』、11月の第2週の日曜日に開催される『福祉祭』ですが、すべて会場は市役所です。(現在は市役所本庁舎耐震工事のため今年の産業まつりは中小企業大学校が会場でしたが)また、これらのお祭りはテーマが決まっているため、お祭り開催に関わる人も限定的になってしまいます。一方で、うまかんべえ～祭は、グルメコンテストの出展者の幅も広く、また、多くの団体、企業が協賛していること、お祭り開催に(裏面に続く)

当たって広くボランティアを募っていることから、他のお祭りにはない幅の広さが特徴的です。今回のお祭りでは、高校生のボランティア参加者もあり、年齢、関係ともに「市民全体のお祭り」として育ててきていることが大きな特徴だと感じました。…また、このようなイベントに対し、市は補助金を出しています。今年度の補助金額は以下のとおりです。

『うまかんべえ～祭』 3,900,000 円

『環境市民の集い』 900,000 円
※環境月間事業費として

『産業まつり』 3,200,000 円
※農業部門 160 万円、商工部門 160 万円

『福祉祭』 464,000 円

…補助金の額としてはうまかんべえ～祭が一番高額になっていますが、毎回の内容の見直しや来場者数の人数や層の広さなどを考えると、イベントとしては一定の成功を収めていると感じます。他のイベントやお祭りはジャンルが限定されているので難しい面もあると思いますが、毎回、少しずつ内容を見直すということも必要のように感じます。それぞれのお祭りやイベントは「実行委員会方式」で行っているため、各実行委員会の中では振り返りも行われていますが「東大和市の大きなイベント」という点では、経験の蓄積と共有という観点で、各実行委員会の意見交換なども行うことで、アイデアの共有、改善点の共有などもできるのではないかと思います。また、11月に2週連続で行われる「産業まつり」と「福祉祭」については、合同でやることには検討の余地があると感じます。合同で実施することによるスペースの問題もあるかもしれ

ませんが、予算的にも工夫の余地も大きくなり、また、関係する人の幅も広がることでイベントの効果の向上も期待できるのではないのでしょうか。

■イベントとして

…今回は、熊本地震の発災から間もないことから、市にはうまかんべえ～祭りの中止を訴える声も来たそうです。そこで、このように人が集まるイベントを被災地支援につなげるために、会場では被災地への募金活動も行われ、多くの募金が集まりました。また、このイベントは未だに風評被害で苦勞をしている友好都市喜多方市の物産を売る機会にもなっています。第2回から東大和市の農業委員会が協力し、喜多方市のお米を販売していますが、実際、1年目、2年目は思うように手に取っていただけず、最終日に懸命に販売しなければ売れない状況でした。しかし、今回は販売数量を増やしたにも関わらず、2日目の午前中にはお米は完売したとのこと。うまかんべえ～祭りは尾崎市長が掲げている「ご当地グルメの開発」のためにスタートしたのですが、その目標への到達は見えていません。しかし、多くの市民が参加し、楽しめるイベントとして、また、喜多方市を支援するイベントとしても成功しているという点でも一定の評価はできると思います。

…ちなみに、リクルート社が運営している『R25』という情報サイトでも今回のうまかんべえ～祭りは「知っとかなきゃ」なイベント」として取り上げられていました。今回の来場者の中にどれだけ市外の方がいたのかは不明ですが、東大和市を知り、訪れる機会としてもこのイベントは役立っているのではないかと思います。今回、会場を訪れて、来年の第6回には、さらにどんな進化をするのか楽しみです。

職員による街頭募金活動も

熊本地震被災地に対する東大和市の対応

…未だに地震の続く熊本地震被災地への支援について、多くの自治体が様々な形で動き出しています。東大和市においても、職員の派遣（特に土木関係）も決定しており、今後も要請に対しては支援をすることとなっています。また、市職員を対象に義援金も募るほかに、市は市の職員による街頭募金活動も決定しました。職員の募金活動は右記の場所と時間で実施されます。市議会も市長会の要請を待たず、議員を対象に義援金を募り被災地に送る方向で議長から代表者会議を26日に開催するとの招集もありました。東日本大震災の際には議員の有志で被災地でのボランティア活動にも参加しましたが、九州という遠い地に対して、今できる支援としてまずは義援金という形で被災地を応援したいと思います。

実施日	実施時間	実施場所
4/25(月)	13:30～16:00	東大和市駅前ロータリー
	17:30～19:30	東大和市駅前ロータリー 上北台駅改札口付近
4/26(火)	13:30～16:00	東大和市駅前ロータリー
	17:30～19:30	東大和市駅前ロータリー 武蔵大和駅改札口付近
4/27(水)	13:30～16:00	東大和市駅前ロータリー
	17:30～19:30	東大和市駅前ロータリー 玉川上水駅ロータリー付近

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」
【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社に企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102